

令和8年 3月定例会 市長提案説明

3月定例会の開催に当たりまして、所信の表明と令和8年度当初予算の施策のあらましを申し上げ、議会及び市民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

まず初めに、本市では、今月に入り、交通死亡事故により3名もの尊い命が失われました。昨年は、一年間で2名でしたので、一大事であります。

この事態を受け、これ以上の悲劇を防ぐため、今月20日から3月5日までの期間、岡崎市長、岡崎市議会議長、そして岡崎警察署長の3名で「岡崎市交通死亡事故抑止緊急アピール」を発令いたしました。

私たちは、交通死亡事故を発生させないという強い決意のもと、期間中は、啓発活動の強化やホームページでの情報発信、重点的なパトロール活動など、交通安全対策を徹底してまいります。

議員各位におかれましても、本アピールの趣旨にご理解を賜り、市民の交通安全確保に向けた取り組みにご協力いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、本年は、いよいよ市制施行110周年を迎え、また、額田地域と合併後、20周年という節目となります。

これまでの歩みを振り返るとともに、未来に向けた新たな一歩を踏み出す大変大切な年でもあります。これらのことを踏まえ、令和8年度は、「110年の歴史と「夢ある新しい岡崎」を紡ぐ予算」としました。

このまちに生まれ育った子どもたちが、自らのふるさと・岡崎に対し、これまで以上の大きな愛情と誇りを持てるよう、子育て支援・教育の充実、高齢化対策、医療のレベルアップ、災害対策といった基本施策を充実させてまいります。

わたくしが市長として3期目を迎えた昨年度の令和7年度予算は、財政調整基金が大幅に目減りし、これまで培ってきた本市の強みである「健全な財政運営」を堅持できないのではないかと非常に心配しましたが、今年度末においてなんとか100億円の残高を確保できる見込みとなりました。これは、ひとえに市民の皆さまや、議員各位のご理解とご協力の賜物であると、深く感謝いたします。

110周年を迎える令和8年度は、財政状況にも配慮しながら、ダブルゼロの公約をはじめとする政策の充実に向けて、強く歩みを進める時期と考えております。

市立小中学校の給食費無償化につきましては、小学校の無償化を実施するにあたり、国・県の補助金に加えまして、差額を市費で負担することにより、完全無償化を実現してまいります。

中学校につきましては、令和7年度は当初予算で4月の無償化、そして、国の地方創生臨時交付金を活用した補正予算で12月の無償化と前年度からの値上げ分の据え置きを対応していますが、令和8年度は当初予算で4月に加え、12月も無償化を実施してまいります。

なお、高校生世代の通院医療費の無償化につきましては、令和9年4月の実現を目指してまいります。

世の中には、公約は選挙を有利に運ぶためのスローガンであり、選挙が終われば、何1つ実現できなくても平気という方もみえますが、私は、公約とは「実現するためのモノ」と考えており、必ず実現させてまいります。

また、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業として、12月定例会でご議決いただきました「おかざき市民応援商品券」に加え、追加の物価高騰対策事業を実施するため、令和8年度当初予算の補正を本日提出させていただきました。

追加の事業としましては、給食材料費の高騰などにより値上げを行う公立保育園及びこども園、市立中学校等の給食費につきまして、令和8年度に予定しています値上げ分を市費負担として、値上げ幅を抑えることで、保護者負担を軽減いたします。

その他、水道料金の基本料金6か月分の減額、防犯用具等の購入費補助、畜産・園芸農業者に対する支援金、農業者に対する収入保険制度への加入促進のための支援金、EV等の次世代自動車購入補助の上乗せ、中小事業者を対象に脱炭素経営を条件とする融資の手数料等の補助を計上することにより、今回の物価高騰対策事業の一般会計の予算規模は、11億532万8千円であります。

令和8年度の予算編成におきましては、市税収入の増加を見込むものの、人件費や社会保障関係経費の増に加え、物価高騰等への対応も必要となるなど、依然として厳しい財政状況は変わっておりませんが、まちづくりやインフラ整備といった将来の成長投資と健全な財政運営の維持を両立させることを取り組んでまいりました。

単に支出を削減するだけでなく、財源を最大化することが重要であり、将来にわたる持続可能な財政運営に努めながら、基本施策のほか、現在進行中の大型事業や行政のデジタル化の推進、そして、未来を託す子どもたちに関する事業にも取り組むなど、バランスの取れた予算を編成いたしました。

それでは、新年度予算に計上いたしました主要事業につきまして、総合計画の分野別指針に沿ってご説明申し上げます。

まず、「暮らしを支える都市づくり」であります。

阿知和地区工業団地造成事業については、令和8年度末の造成完了に向けて、造成工事を進めていくとともに、南北アクセス道路を整備することで、工業団地へのアクセス確保のほか、地域で課題となっている通勤時間帯の渋滞緩和も図ってまいります。

合わせて、スマートインターチェンジにつきましては、中日本高速道路株式会社と協力し、進出企業の操業開始までの開通を目指して、引き続き整備を進めてまいります。

進出企業の選定につきましては、令和8年2月3日に開催しました選定委員会において、募集区画の一部について、新たに優先交渉権者を決定しました。全区画の優先交渉権者の早期決定を目指してまいります。

QURUWA 地区においては、豊富な公共空間を活用しました公民連携プロジェクトの一環として、ホテル等の民間収益施設の誘致を推進しておりまして、令和7年12月から令和8年1月にかけて、事業者へのサウンディングを行いました。そこでいただいたご意見を踏まえ、5月には公募を開始し、順調にいけば9月に優先交渉権者を決定してまいります。

東岡崎駅周辺地区整備については、「まちと人がつながる おもてなしの玄関口」を目指し、2030年の完成に向けて、引き続き橋上駅舎、自由通路、駅ビル、バスターミナル等の一体整備を進めてまいります。

令和8年度におきましては、新駅ビルの市街地再開発事業について、名古屋鉄道株式会社と連携して実施設計を行うとともに、自由通路及び橋上駅舎の整備につきましては、杭工事から本体の建設工事を進めてまいります。

本宿駅周辺地域では、「三井アウトレットパーク岡崎」がグランドオープンしまして、岡崎に新たなにぎわいと交流を生み出す拠点として、連日多くの方にお越しいただいているところですが、さらに交流人口や定住人口の増加による、交通結節点の機能強化に向けた本宿駅周辺の整備を進めながら、アウトレットを核とした街づくりを進めてまいります。

公園施設整備については、矢作公園において、ワークショップの中で地元の皆さまからいただいたご意見をもとに、東広場の遊具などを改修します。

また、近年の長期化する夏の暑さ対策として、噴水施設を設置してまいります。

南公園整備については、リニューアルオープンまでいよいよ1年となり、整備が順調に進んでおります。引き続き、子どもたちを中心に、家族が笑顔になれる楽しい公園として、再整備を推進してまいります。

さくらの名所づくりの推進では、本市の貴重な景観・観光資源である岡崎城公園周辺のさくらについて、保全・充実を図るため、樹勢回復処置を、また、市制110周年記念事業として、新規植樹を実施してまいります。

なお、市内に400ほどある中小の公園についても長期的に植樹を行っていきたいと考えております。

次に、「暮らしを守る強靱な都市づくり」であります。

自主防災活動は、地域住民が主体的に備えや訓練に取り組むことで、住民同士の連携を深め、災害時の共助を支える重要な基盤です。本市では平成26年度から、自主防災活動に必要な用具購入や資機材整備に対する補助金制度により、自主防災組織の装備の充実を進めてきました。

令和8年度は、補助金制度について、これまで活用実績のなかった自主防災組織も利用しやすい制度へと見直すとともに、地域活動を後押しする新たな支援メニューも追加しまして、さらなる地域防災力の向上に取り組んでまいります。

次に、「持続可能な循環型の都市づくり」であります。

食と農の生産・交流・PR 拠点エリア、いわゆるアグリパークの推進につきましては、農業支援センターやおかざき農遊館の機能を核としまして、スマートインターチェンジ開通に伴う玄関口にふさわしいエリア・施設としてまいります。

そのための新たな機能やサービスなどの検討を、地元ワークショップなどを通じて進めてまいりました。その地元案を、より幅広くお聞きしながら、

市全体の案として取りまとめまいります。

また、先行して、市が運営する市民農園の拡充や、スマート農業実証ほ場の整備などを実施してまいります。

有機農業産地づくりにつきましては、有機農業塾や、有機市民農園の充実などにより、有機農業を担う人材の育成や、理解の促進に力を入れまして、生産量を増やし、給食食材に導入できる体制を構築してまいります。

次に、「多様な主体が協働・活躍できる社会づくり」であります。

岩津地域活動拠点施設整備については、これまで地域の皆さまなどからいただきました多くの声をもとに、施設の整備方針や具体的な機能及び規模などを盛り込んだ「基本計画」を策定し、整備の実現に向けて取り組んでまいります。

街頭防犯カメラ整備については、50台を増設し、犯罪抑止と体感治安の向上を図り、これからも市民の皆さまの安全確保に努めてまいります。

次に、「健康で生きがいをもって活躍できる社会づくり」であります。

高齢者と子どもの多世代交流を図るため、高年者センター岡崎と地域福祉センターにおいて、地域子育て支援拠点事業を開始いたします。

また、地域の居場所である子ども食堂等への支援を充実し、地域福祉を推進してまいります。

不妊治療については、県の制度を活用した新たな補助制度を創設しまして、保険が適用される医療と併用して実施される保険適用外の先進医療に対してその7割相当を補助し、不妊症で悩む方の経済的負担の軽減を図ってまいります。

岡崎市民病院では、電子カルテを含む「統合情報システム」の更新や、結核感染症病棟の整備を行うほか、5階南病棟の病室改修や空調自動制御設備の改修など、移転後28年を迎える施設設備の更新工事を引き続き実施いたします。

また、医療機器の整備では、AI搭載の全身用エックス線CT診断装置など、最新機器を導入し、市民の皆さまに高度な医療を提供できる体制を整えて、信頼に応えてまいります。

今後とも、医療の質の向上や人材の育成に努めるとともに、良質ながん医療・高度急性期医療を主軸に、安全安心な医療を提供してまいります。

次に、「女性や子どもがいいきと輝ける社会づくり」であります。
乳児等通園支援について、すべての子どもを応援し、良質な生育環境を整備するとともに、子育て家庭の支援を強化するため、0歳6か月から満3歳未満の未就園児を対象に、保護者の就労要件を問わず、月一定時間まで保育所などを利用できる「こども誰でも通園制度」を公立保育園2施設で実施してまいります。

次に、「誰もが学び活躍できる社会づくり」であります。

夏の熱中症対策として、小中学校の体育館及び柔剣道場にエアコンの整備を行ってまいります。

すでに事業着手しております中学校につきましては、本年、令和8年6月末までに設置が完了します。

かねてより多くのご要望をいただいております小学校へのエアコン整備につきましては、令和9年度からの事業着手に向けて、事業者選定のための業務を開始いたします。

スケジュールとしましては、47校を1期と2期に分けて順次整備する方針として、1期目は令和10年夏までの設置完了、

2期目は、令和11年の夏までに設置を完了できるように事業を進めてまいります。

次に、「商業と観光が成長産業となる地域経済づくり」であります。

本市ならではの観光資源を活用した伝統あるイベントを開催し、市内外からの観光誘客を図ってまいります。

特に、「三井アウトレットパーク岡崎」や、本年9月から10月にかけて開催されますアジア・アジアパラ競技大会などでは、これまで本市を訪れたことのない新たな層に岡崎の魅力を知っていただく好機と捉え、買い物や観戦の前後に観光スポットへもお立ち寄りいただけるように、そして、改めて訪れてみたいと感じていただけるよう、観光PRに努めてまいります。

また、市制110周年記念事業として、岡崎観光伝道師を活用した事業や、NHK 大河ドラマ「豊臣兄弟！」を契機としたイベントを検討しておりますので、楽しみにしていただきたいと思います。

さらに、令和8年度の特別な事業として、かつて本市のイベントとして人気のあった青く光る LED の球を乙川の川面に浮かべ、幻想的な水辺空間を演出する「泰平の祈り」を復活させます。

次に、「ものづくりが柱でありつづける地域経済づくり」であります。

日本最大級のオープンイノベーション拠点である STATION Ai のパートナー会員として、スタートアップ企業をはじめとする STATION Ai の会員との連携、市内ものづくり企業向けの交流イベントやものづくり岡崎フォーラムなどを実施し、企業の新たな価値の創造や課題解決を支援してまいります。

最後に、「スマートでスリムな行政運営の確立」であります。

デジタル技術を活用した新たな取り組みとして、市民一人一人に合わせたプッシュ型のお知らせ配信や、オンライン申請の入口となる市民ポータルサイトを導入しまして、利便性向上を図ります。デジタル手続きのニーズが高いと思われる、子育て分野から導入をはじめ、

順次対象分野の拡大を図ってまいります。

また、町内会活動のデジタル化支援やオープンデータの活用推進等、地域課題の解決やまちづくりに活かすなど、デジタル技術の活用で一步先の暮らしを実感できるよう取り組んでまいります。

以上、主要事業について、ご説明させていただきました。

続いて本議会に提案しております議案について、説明させていただきます。

まず、条例議案であります。制定条例といたしましては、先人から受け継いだ岡崎の食文化を次世代に引き継ぐため、その継承及び振興に関し、市、市民、事業者等の役割を定める、「岡崎市食文化の継承及び振興に関する条例」や、岡崎駅東の土地区画整理事業による「町及び字の新設に伴う関係条例の整理に関する条例の制定」など3件であります。

次に、改正条例といたしましては、市の公立保育所において乳児等通園支援事業を実施するに当たり、その利用料などを定める「岡崎市保育所条例及び岡崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等を定める条例の一部改正」、災害その他非常の場合における排水設備の早期復旧のため、他の市町村長等が指定した者が排水設備等の工事を行うことができるよう規定を改めるとともに、持続可能な下水道事業の経営を確保するため、公共下水道使用料の額を改める「岡崎市下水道条例の一部改正」など21件であります。

このほか、廃止条例といたしまして、「岡崎市竜美丘会館条例の廃止」の1件がありまして、さきの制定条例、一部改正条例と合わせ、

25 件の条例議案を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、

一般国道1号への都市計画道路岡崎環状線事業に伴う(仮称)岡崎地区
交差点改良工事の委託の契約を行う「工事請負に関する契約」や、
名鉄名古屋本線東岡崎駅の交通施設整備事業に関する工事の委託の内容
を変更する「工事請負に関する契約の変更」など、
17 件を提案させていただいております。

次に、補正予算について、主なものを説明させていただきます。

一般会計は、各事業における契約差金などに伴う減額、
将来の財政需要に備えるための財政調整基金や公共施設保全整備基金、
計画的に未来投資計画等を進めるための東岡崎駅周辺地区整備基金への
積み立て、事業の進捗に合わせた継続費や繰越明許費の追加及び変更な
どをお願いしております。

また、国の補正予算などにより、全中学校の体育館や柔剣道場のエアコン
設置の改修工事請負費のほか、中学校校舎の大規模改修工事に関わる
校舎等特別整備工事請負費の計上などをお願いしております。

さらに、企業会計の水道事業及び下水道事業では、
国の補正予算による水道施設更新事業費や管渠施設築造及び改良工事費
などの増額をお願いしております。

以上が、本議会に提案をいたしました議案の概要であります。

さて、9月から10月にかけて岡崎中央総合公園で開催されますアジア・
アジアパラ競技大会であります。本市におきましても、
円滑な管理運営のための支援、来場者のおもてなしに取り組むとともに、
大会を契機としたアジア各国との交流促進を図りながら、多くの観戦者が

競技会場を訪れ、大会が盛り上がるよう機運醸成に努めているところです。

そして昨日、2月 26 日に開催地域住民を対象としたチケットの先行販売が開始されました。チケットは、各大会の公式チケットインフォメーションから応援 ID を登録いただき、購入することができます。

アジア 48 億人の頂点を決めるこの祭典を、ぜひ会場で体感していただき、市民の皆さまと盛り上げてまいりたいと考えております。

また、3月 25 日から「桜まつり」が始まり、4月5日には本市の春の風物詩「家康公行列」を開催します。

岡崎観光伝道師「東海オンエア」のリーダー・てつやさんに若き家康公役としてご出演いただくほか、たくさんのご応募をいただいた武将列や姫列には、先週の選考会で選ばれた市民の皆様がたにご参加いただき、一緒に盛り上げていただきます。

そして、追加で嬉しい報告をさせていただきます。

家康公行列を先導する交通安全パレードに、AKB48 の第1期生として活動し、グループ卒業後はバラエティを中心に活躍の峯岸みなみさんに、一日警察署長として出演いただくことが決定しました。

市制 110 周年を記念する最初のイベントとして、華やかに演出してまいりますので、どうぞ楽しみにしてください。

ここで一点お願いです。

昨年7月に永眠した東公園動物園のゾウの「ふじ子」につきましては、骨の標本や3Dデータの製作をしており、現在、姿を再現した全身骨格標本を、ふじ子が過ごしたゾウ舎に展示するプロジェクトを進めております。

このプロジェクトのための御寄附を、ウェブサイト「さとふる」の「クラウドファンディング型ふるさと納税」のほか、東公園動物園でも受け付けております。

市内外の幅広い皆様からの御支援を、何卒、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、いつも申しております通り、私の目指す岡崎は、子どもたちが自然空間でもっと自由に遊ぶことができ、笑顔のあふれるまちであります。

人口減少が心配される今であるからこそ、そのような施策がより大切であると考えております。

住んで快適、楽しいまち、そんな「夢ある新しい岡崎」の実現に取り組み、将来、「あの時代の市政の結果、今の岡崎がある」と言われるようなまちづくりに全力で邁進してまいります。

以上、ご説明を申し上げますとともに、提出をいたしております諸議案につきまして、よろしくご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げまして、私の説明を終えさせていただきます。ありがとうございました。